



2024年3月期 決算説明資料

データセクション株式会社

2024年5月20日

証券コード：3905



1. 2024年3月期 実績

2. 2025年3月期 計画

3. Appendix

4. 参考資料(会社概要)

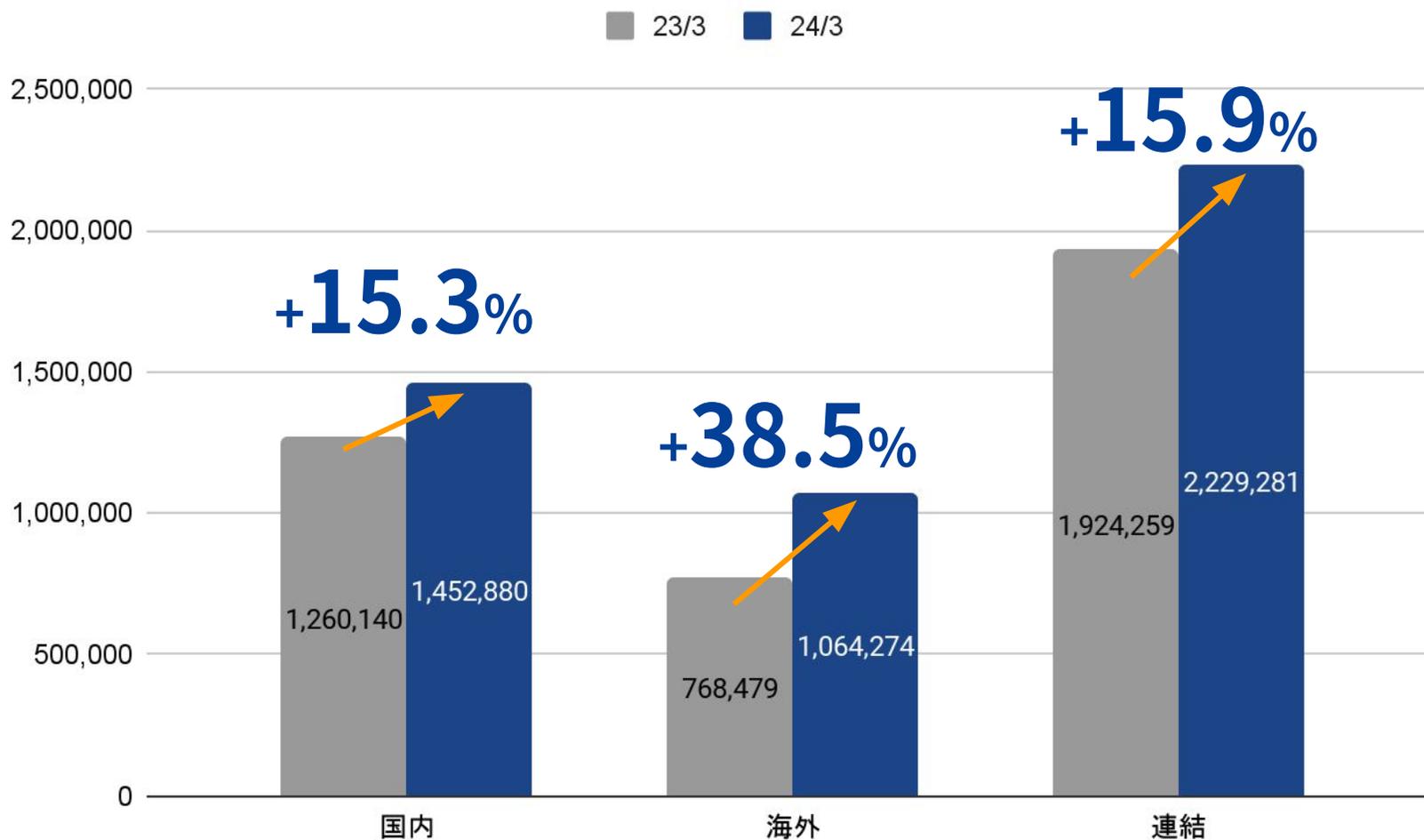
1. 2024年3月期 実績

- ・過去最高売上高を連続して更新(前年比+15.9%)
- ・事業構造改革の遅れによる親会社の営業赤字、及び過去に起因する一過性かつ評価性の特別損失を主因として、大きな赤字を計上

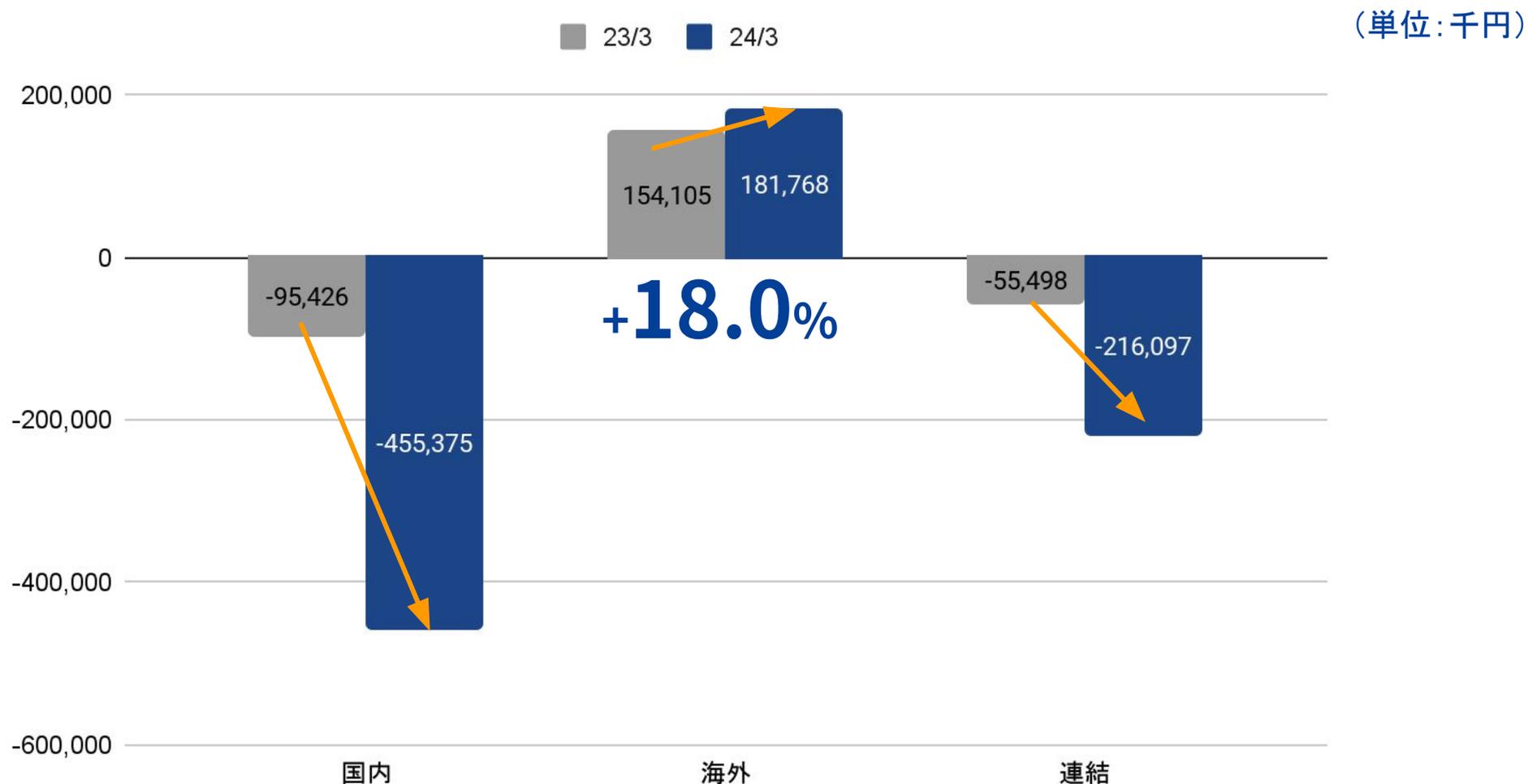
項目	24年3月期 実績値	修正計画対比		前年対比	
		計画	差分	実績	差分
売上高	2,229	2,100	+100	1,924	+305
営業利益	▲216	▲250	+34	▲55	▲161
調整後 EBITDA	47	▲50	+97	689	▲642
経常利益	▲235	▲290	+55	46	▲281
親会社 純利益	▲1,261	▲960	▲301	▲530	▲731

- ・各社の単純合算ベースで、国内・海外ともに成長を継続
- ・海外は概ね「40%増」と高成長をキープ

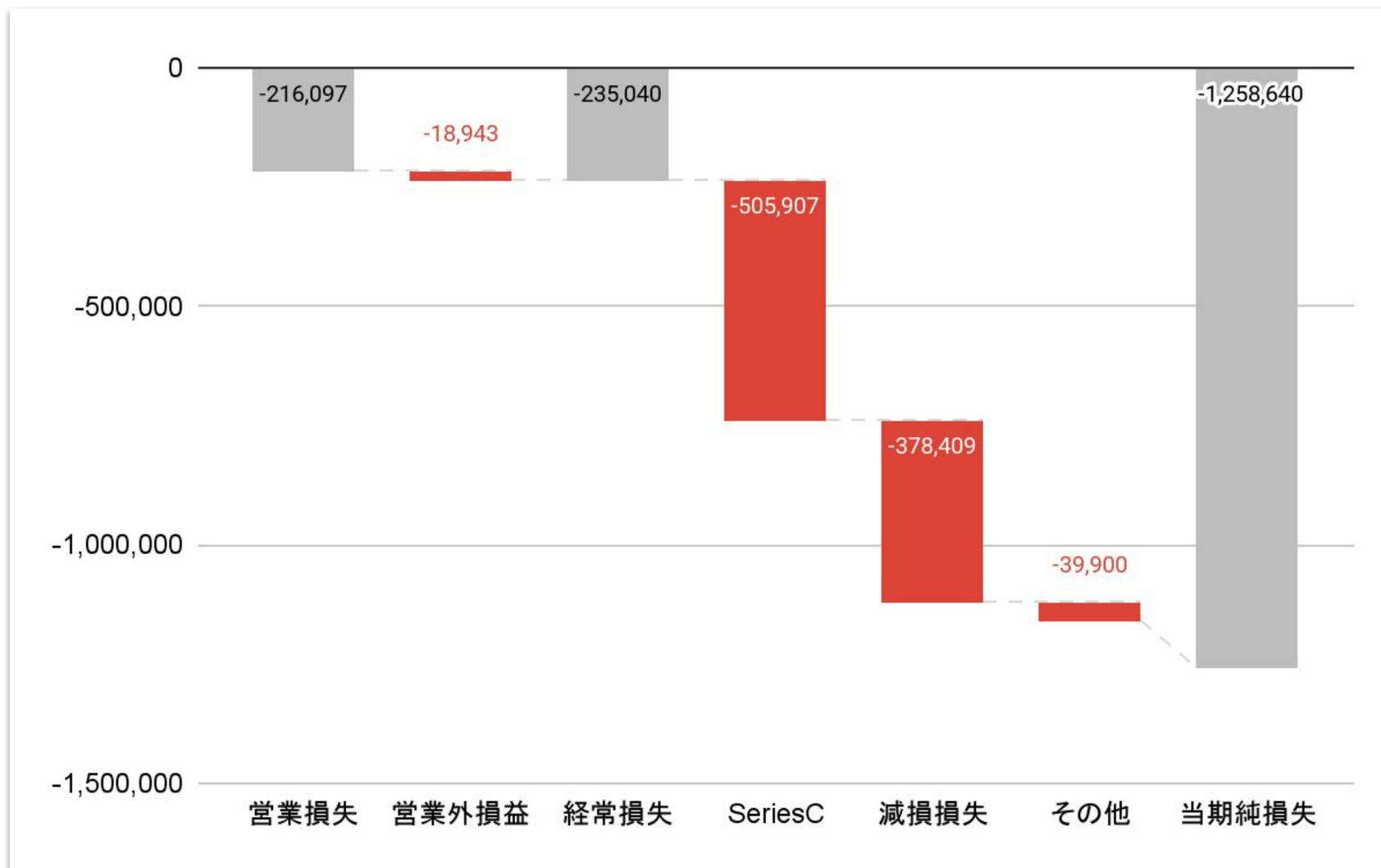
(単位:千円)



- 国内、特に親会社の収益構造に課題。
構造改革要因のコスト等を吸収できず、国内が大幅な赤字



- ・ビジネス面は、国内赤字が要因
- ・加えて、財務上の課題一掃を企図した一過性の特別損失 にて、大幅な最終赤字に

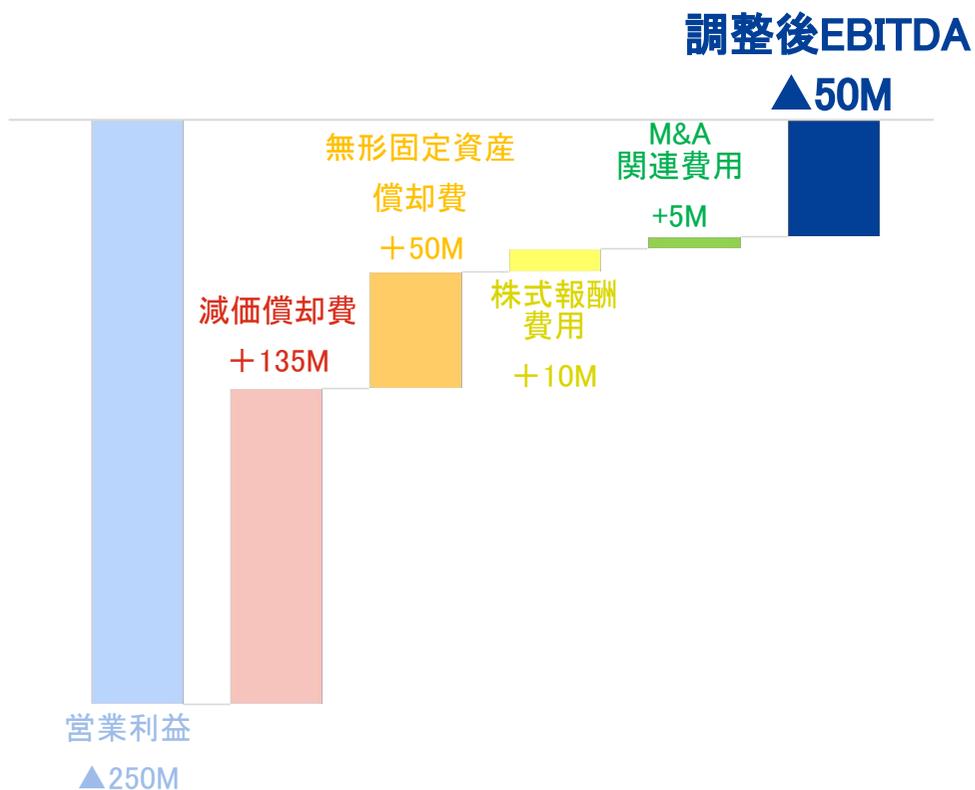


(単位:千円)

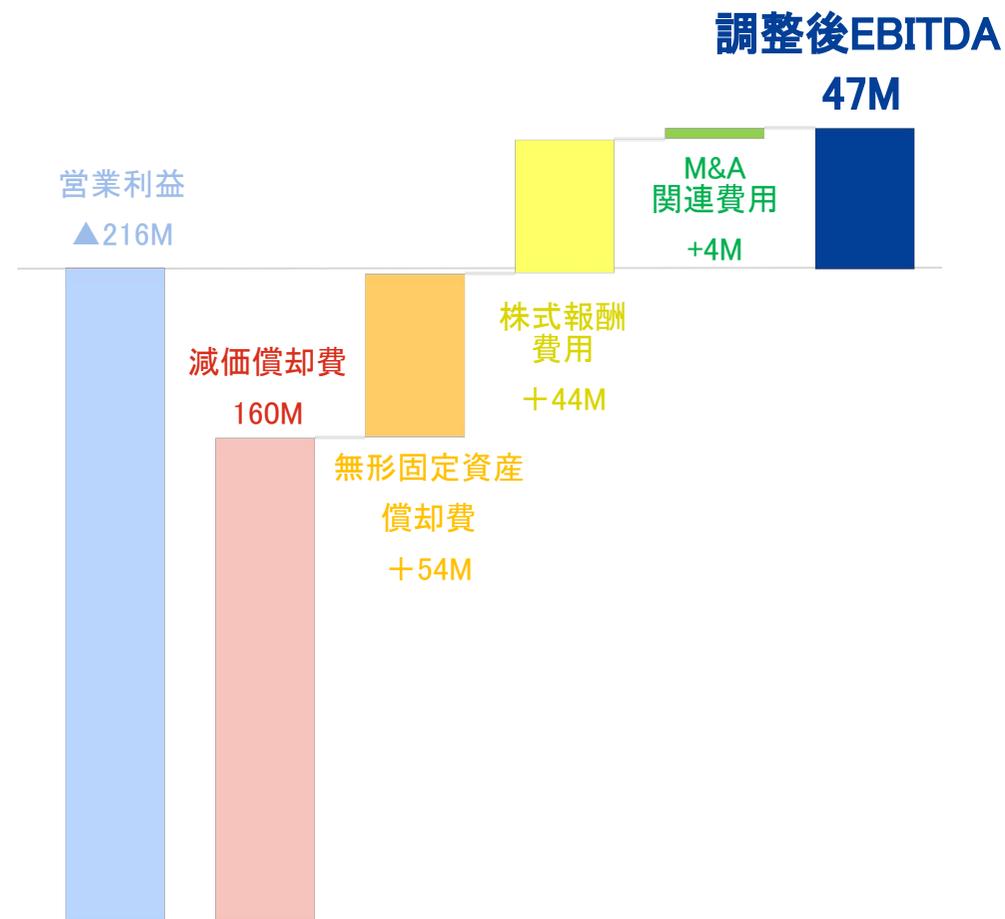
・ 実質的なCF創出力を示す調整後EBITDAは、修正計画を上回って着地

※調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 無形固定資産償却費 + 株式報酬費用 + M&A 関連費用

<24年3月期 修正計画>



<24年3月期 実績>



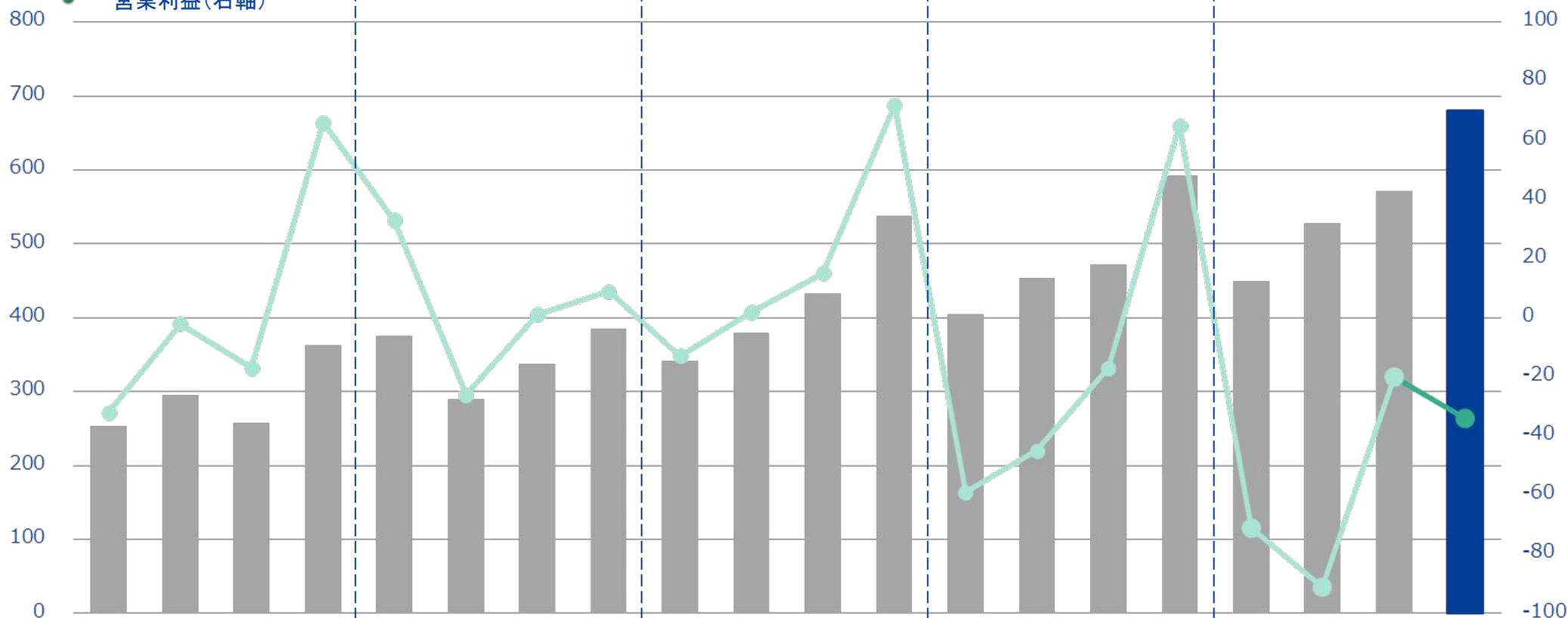
四半期毎売上高・営業利益推移(連結)

1. 2024年3月期 実績

単位:百万円

■ 売上高(左軸)

● 営業利益(右軸)



決算期	20/3				21/3				22/3				23/3				24/3			
	1Q	2Q	3Q	4Q																

売上高 (百万円)	253	295	257	362	375	290	337	385	342	379	432	538	405	454	472	593	450	528	571	680
--------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

営業利益 (百万円)	▲32	▲2	▲17	66	33	▲26	1	9	▲13	2	15	72	▲59	▲45	▲17	65	▲71	▲91	▲20	▲34
---------------	-----	----	-----	----	----	-----	---	---	-----	---	----	----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----

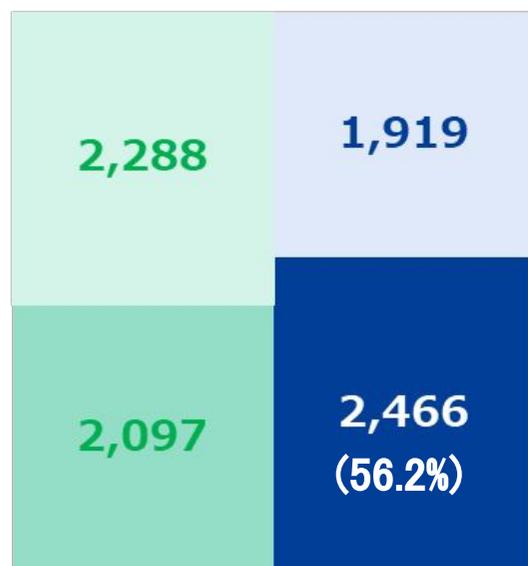
- ・当期損失がほぼそのまま資産・資本項目の減少要因
- ・第三者割当増資実施により、自己資本比率は50%超を維持

(単位:百万円)

— 主要な増減要因 —

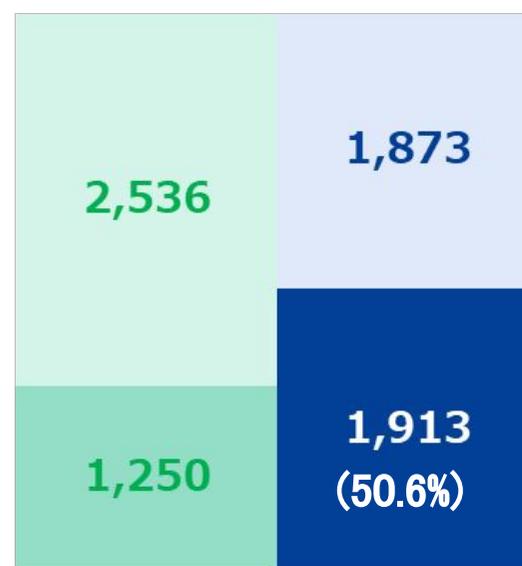
2023年3月期 期末
(2023年3月31日)

総資産 4,386



2024年3月期 期末
(2024年3月31日)

総資産 3,786



流動資産
 固定資産
 自己資本
 負債その他

○流動資産: ▲413

・現預金: ▲83

○固定資産: ▲399

・有形固定資産: +172

・無形固定資産: +142

・投資その他の資産: ▲712

○負債その他: ▲77

・短期借入金: +115

・長期借入金: ▲209

○自己資本: ▲824

・利益剰余金: ▲859

・新株予約権: +20

・為替換算調整勘定: +11

- ・過去を一掃し、事業構造改革を進展
- ・今年度以降は新体制にて、高い利益成長を追求

1. 財務上の課題の一掃

- ・チリ子会社優先株クローズ
(貸倒損失計上)
- ・事業構造見直しにかかる減損

2. 資本増強・経営体制変更

- ・第三者割当増資(FPF社)
- ・新経営体制
代表取締役異動
新任取締役2名(4月)

3. 主要テーマの進捗・トピックス

- ・次頁以降に詳細
- ・バルクホールディングスとの
包括業務提携(基本合意)
- ・Room4Dグループからの事業
譲受等

1. 事業ポートフォリオ

- ・海外は新規連結・M&A等も視野に、資源投下とのバランスも考慮し、成長を継続
- ・要素技術の強みを生かした国内事業の再構築
- ・ChatGPT関連などの将来ビジネスへの布石

2. グローバルな体制強化

- ・グローバルベースでの事業セグメント見直し
- ・マネジメント観点からの組織設計と幹部層の強化
- ・バリューチェーンに基づくグループ連携強化及び、横断的な機能の設置

3. 顧客提供価値の向上

- ・開発済自社プロダクトの新規投入
- ・クロスセルあるいはアカウント営業
- ・SaaS型の直線的ビジネスに、コンサルティング機能を発揮し、高付加価値化

①人材投資・HR機能強化

優秀な幹部層、エンジニアの確保と、グローバルベースのリテンション強化及びMVV昇華

②コーポレート・ブランディング

IR/PRの強化拡大による認知度向上と、ESG・SDGs等非財務部分での企業価値向上を併進

③ガバナンス

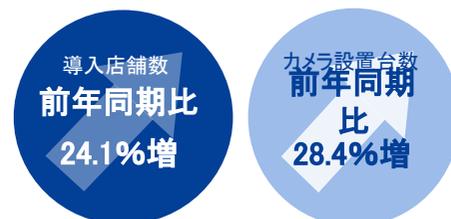
グローバル上場企業としての強固な礎作りと、コンプライアンス意識の更なる徹底

売上高の先行指標は前年同期比で順調に増加

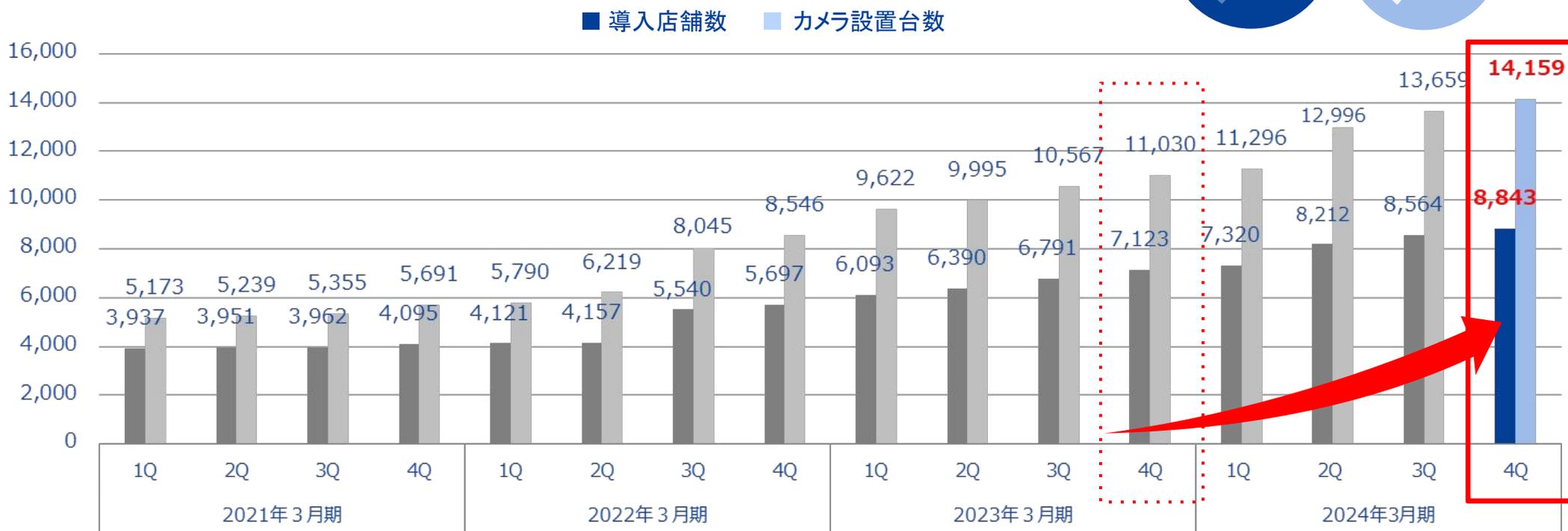
- 売上高の中期的なKPIとなる導入店舗数・カメラ設置台数は、特にチリでの大型ショッピングモールへの全店導入が寄与し、**オーガニックな成長を原動力に、前年対比約30%成長で推移**
- パナマ・スペインの新規連結により、ほぼフル連結化

ー導入店舗数(非連結子会社を合算):8,986店舗・カメラ設置台数(非連結子会社を合算):14,360台

※国内は2024年3月31日時点(海外は2023年12月31日時点)



<導入店舗数とカメラ設置台数累計(連結ベース)>

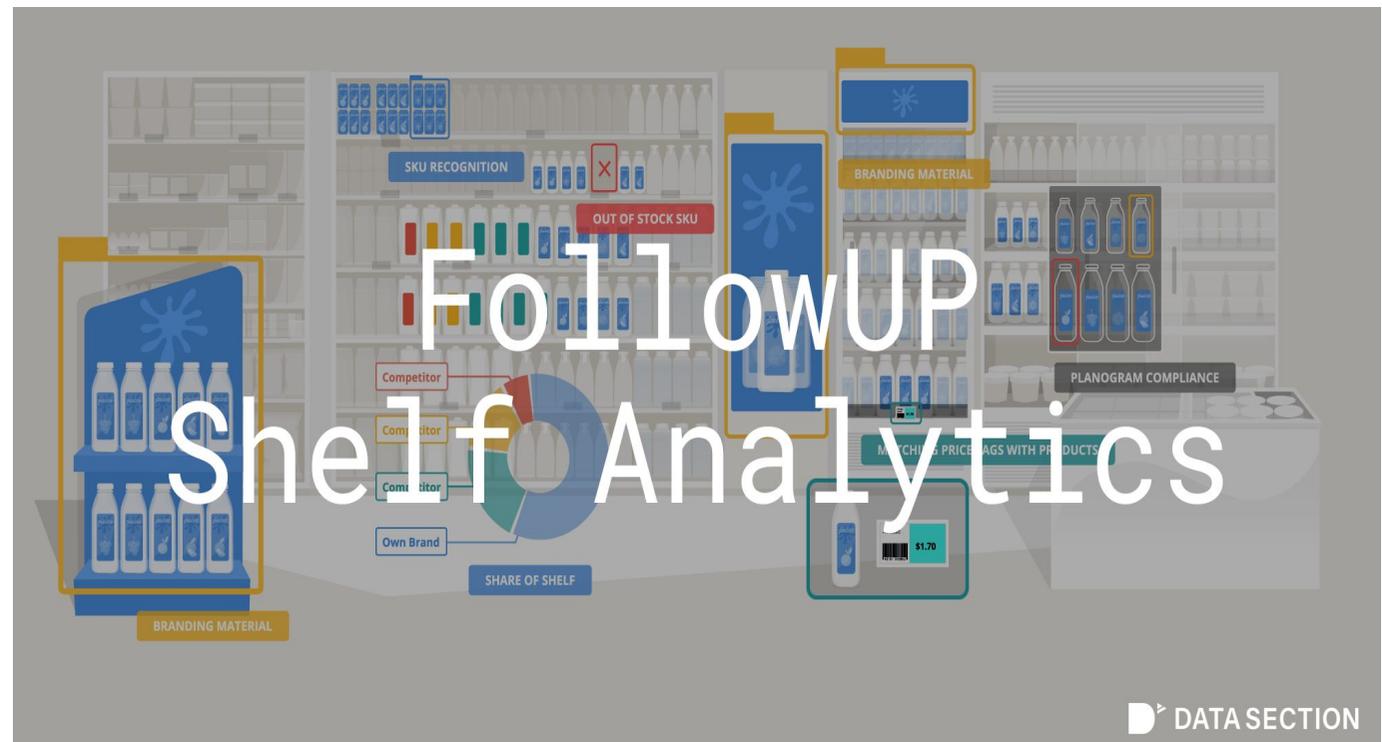


Alianza FollowUP Panamá S.A(パナマ)・FollowUP Customer Experience S.I(スペイン)の2社を新規連結

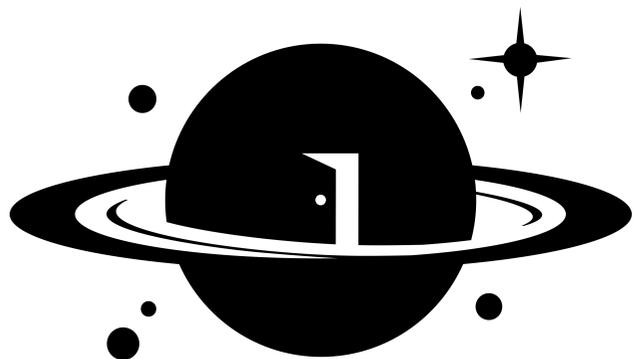
	連結化年度	保有議決割合	主要な事業の内容
データセクション株式会社 	2000		データ分析の技術力で実社会の変革(企業の業務改善や消費者生活の向上)を推進
ソリッドインテリジェンス株式会社 	2013	86.9%	多言語ソーシャルメディア分析・コンサルティング事業
株式会社ディーエスエス 	2018	100.0%	金融系システム運用保守及びアプリケーション開発
Jach Technology SpA 	2019	100.0%	チリにおけるリテールマーケティング事業
Alianza FollowUP S.A.S. 	2019	100.0%	コロンビアにおけるリテールマーケティング事業
Inteligencia S.A. 	2021	100.0%	チリにおけるリテールマーケティング事業
Follow UP Peru S.A.C. 	2022	55.0%	ペルーにおけるリテールマーケティング事業
FollowUP Customer Experience S.I 	2023	95.0%	スペインにおけるリテールマーケティング事業
Alianza FollowUP Panamá S.A 	2023	100.0%	パナマにおけるリテールマーケティング事業

- ・スーパーマーケット向け商品棚解析ソリューション「FollowUP Shelf Analytics」をリリース(2023年6月28日(水))
- ・リアルタイムに商品棚上の欠品、誤配置、フェイス数違い、価格違いをAIで検知し、顧客側の機会損失を削減

◆詳細については、以下の当社HPからご確認いただけます
<https://www.datasection.co.jp/news/pressrelease-20230628>



- ・データサイエンス・生成AIなど、成長性が見込まれる事業領域での事業買収
- ・当社グループに強みのあり、コアな事業領域であるデータ分析・AIソリューションの分野で、SESを含むエンジニア人材を強化し、更に競争力を高めていく方針



The ROOM 4D

◆詳細については、以下の当社HPからご確認いただけます

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3905/tdnet/2316827/00.pdf>



2023年7月28日

各 位

会 社 名 データセクション株式会社

代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 林 健 人

(コード番号：3905 東証グロース)

問 い 合 せ 先 代表取締役副社長 CFO 岩 田 真 一

TEL. 050-3649-4858

事業譲受に関するお知らせ

当社及び当社の連結子会社である株式会社ディーエスエス（以下「DSS」といいます。）は、本日開催の取締役会において、The ROOM4D株式会社（以下「4D」といいます。）の事業を当社が、4Dの子会社であるThe ROOM Door株式会社（以下「Door」）の事業をDSSが譲り受けることを決議いたしましたので、お知らせいたします。

報告セグメントを「国内」「海外」の2つに再編

- マネジメント・アプローチの観点から、経営管理・業績管理体制を見直し高度化
- 投資家はじめ、ステークホルダーの皆様からの分かりやすさ
- 国内・海外双方にバランスの良い投資・成長を目指す将来事業戦略との整合

<セグメントの構成比較>

エンティティ	DS	DSS	SI	Jach	INX	Alianza	Peru	Spain	Panama
変更前	リテール	データ分析ソリューション			リテールマーケティング				
変更後	国内			海外					

アナリストカバレッジの開始（初回2023年10月30日（月））

本件始め、更なる情報開示の充実に努めてまいります
（当社HPより）

10月30日に、株式会社フィスコによる企業調査レポートが配信されましたので、ここにお知らせいたします。

会社概要から、事業概要、業績動向や今後の見通しと詳細に解説されています

詳細については以下のページからご確認いただけます。

<https://www.fisco.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/FISCO/datasection20231030.pdf>

FISCO
企業調査レポート

サステナビリティ方針

100年後の世界と人々の暮らしに貢献する。

トップメッセージ

世界中で人々の暮らしを向上させ続けるという強い意志を胸に、持続可能な成長と企業の飛躍を目指します。

2000年の創業以来、データセクション株式会社は「技術と実社会の融合」という価値観を大切にしてきました。新しいテクノロジー、例えばビッグデータ解析やAI、深層学習（ディープラーニング）などを活用し、それらを社会に実装することで、より良い未来を作ることが可能だと信じています。

私たちは地球規模の課題—少子高齢化、労働力人口の減少、食糧問題、セキュリティ—そして社会構造自体に対しても、企業としての責任を強く意識しています。このビジョンを実現するため、グループ企業の全従業員が一丸となって取り組み、企業価値の向上に努力を続けます。

さらに、これらの取組を具体的かつ持続的に推進する方針として、「データセクション株式会社のグループサステナビリティ方針」を策定しました。

サステナビリティビジョン

100年後の世界と人々の暮らしに貢献する。

Change the Frame」というミッションには、私たちの核となるビジョンである「世界中で人々の暮らしを進化させ続ける」という意志が強く反映されています。データセクショングループとして、グローバルなビジネスフィールドで活動を展開しており、その目標は100年後も人と地球が共存し、繁栄する未来の形成です。この目標に向かって、私たちはテクノロジーの先駆者としての役割を果たし、持続可能な社会の実現に全力で取り組んでまいります。

グローバルなパートナーシップをもとにイノベーションを生み出します

南米の子会社を中心に安定した経営のサポートをすることにより、発展途上国の開発技術の創出、新たなビジネスの拡大の手助けとなっています。さらにグローバルでの継続定期的なパートナーシップを基に、総務省と共にチリの公共機関でのオペレーションの改善に自社サービスを導入し、国境を超えたイノベーションを生み出しました。



グローバルベースでダイバーシティとインクルージョンを推進します

東南アジアの企業とパートナーシップを組み、国の制度に基づいた労働環境を守りながら多様性の推進を実現しています。2022年より男性の育児休暇制度を導入、女性社員は増員傾向にあり、性別や家庭環境などへの理解を示し柔軟な組織体制へ変化してきました。すでに多国籍のエンジニアの採用は積極的に行っており、生まれ、人種、文化の違いに関係なく働ける環境があります。



未来の世界を担う多様な人材を育成し輩出します

データサイエンスがビジネスの中核となっていく近未来に向けて、データの活用方法や分析結果を様々な立場の人に分かりやすく伝えることができる人材を育てるための教育プログラムを提供。データサイエンスへの理解の促進、あらゆる業界で活躍できるデータサイエンティストの人材輩出に貢献します。



コンプライアンスを徹底しコーポレートガバナンスの強化に努めます

定期的な上層部と全社員との1on1や希望者は経営会議を傍聴可能とする制度を設けるなど、透明性のある風通しの良い会社を目指しています。目的別に外部の人材と対応しており、ビジネスにおいては専門家のアドバイスと共にスケールを試み、産業医と連携することで社員の心身の健康をサポート。



両社グループの事業基盤の強化、更なる企業価値の向上を図ることを目的に、両社間で包括的業務提携を行うことを決定

＜提携の理由＞

- ・両社の既存の事業領域において、双方の強みやリソースを活用することで、事業シナジーを得られる領域が複数存在
- ・両社が今後目指している事業の方向性においても、協業による両社の事業拡大が期待できる

本提携の具体的な内容

双方の既存の事業領域であるマーケティング事業、AI関連事業、システムインテグレーション事業、セキュリティ事業等において、相互送客や人材交流に加え、技術分野における協業を進捗するとともに、新規事業等における共同投資などの検討を通じた戦略的提携関係を強化。

今後の見通し

- ・2024年3月期連結業績への影響は、随時、本提携の進捗に応じて精査。
- ・今後、両社の更なる協業体制の構築とシナジー発揮のために、資本提携も検討予定。
(今後開示すべき事項が発生した場合は、速やかに開示する。)

2. 2025年3月期 計画

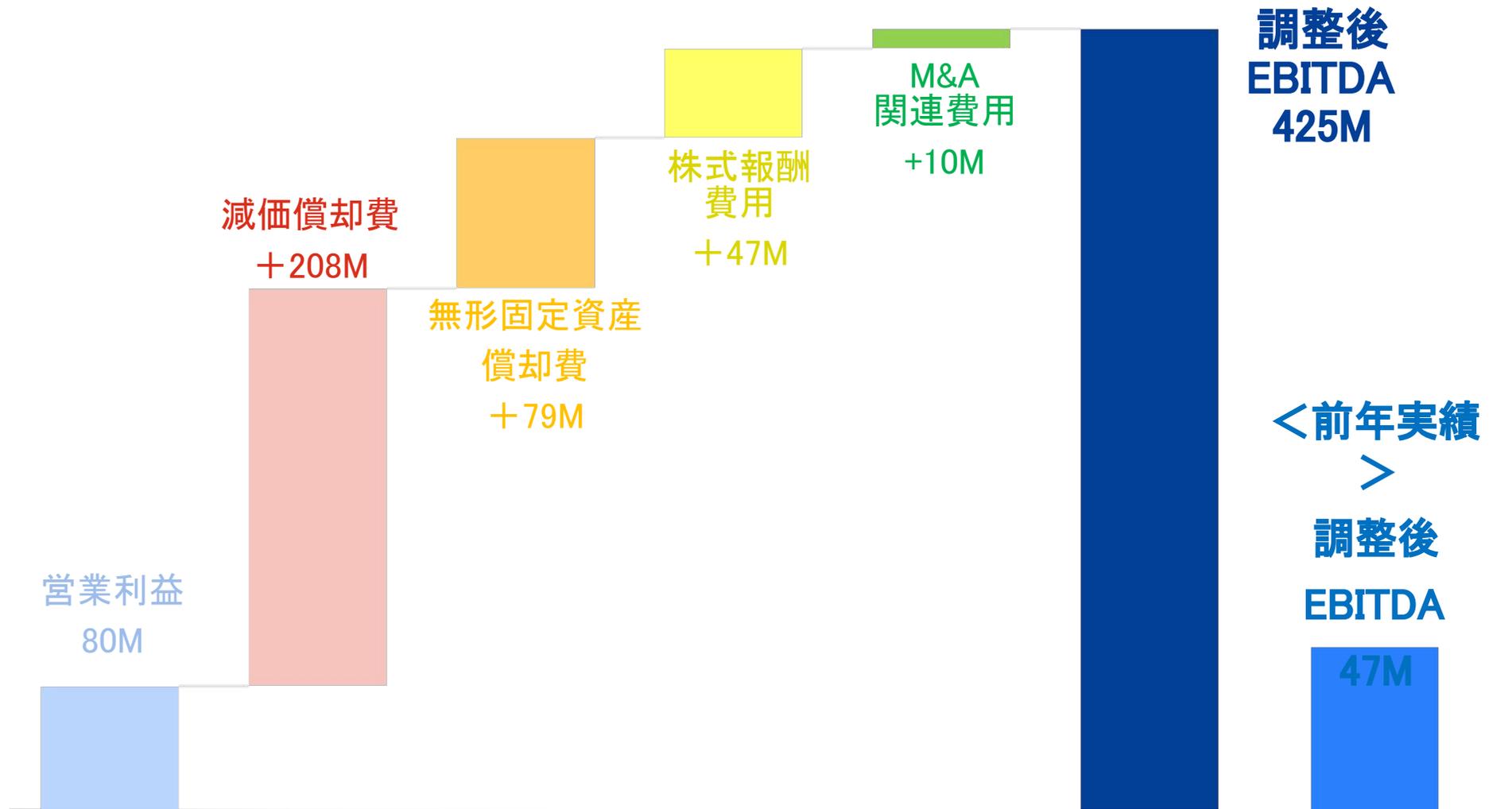
- ・ 前年以上のトップライン成長と連結黒字への転換を計画
- ・ 黒字事業はオーガニックな利益成長を志向し、課題である国内事業は事業構造見直しを含めたリストラクチャリングにより採算改善に注力

項目	24年3月期 実績	25年3月期業績予想		
		計画	差分 (金額)	差分 (増減率)
売上高	2,229	2,650	+420	18.9%
営業利益	▲216	80	+296	—
調整後EBITDA	47	425	+377	797.0%
経常利益	▲235	55	+291	—
親会社純利益	▲1,261	17	+1,280	—

- ・ トップラインは国内・海外双方の成長により 最高売上高を計画
- ・ 国内事業の黒字化 を実現すべく、事業ドメインを再定義の上、Good・Badを明確化し事業構造改革と採算改善を実行



- 営業黒字転換(前年対比の大幅な利益改善)を主因とし、調整後EBITDAも大きく増加する計画(前年比+377M)



＜事業戦略＞

- ・既存事業はGood・Badを明確化し、オーガニックな利益成長とリストラクチャリングを併進し、黒字転換を図る
- ・新規事業についてはタイムリーな資源投下と事業化を展望

1. 事業ポートフォリオ

- ・事業ドメインの再定義による事業採算の管理強化
- ・PMIによるデータサイエンス領域伸長
- ・AIDI設立
- ・バルクHDとの提携具体化

2. Good・Bad

- ・国内(親会社)事業の黒字化とCF良化が最重要課題
- ・DSS・海外はオーガニックな利益成長
- ・国内の不採算事業はリストラクチャリングによる構造改革

3. 新規事業

- ・Supermicro社との業務提携(基本合意)
 - AI サーバー分野における R&D、AI データセンターの運営などを中心に協議継続中
- ・その他新規投資等

< 全社戦略 >

- ・連結の規模対比、相対的にグローバルベースで連結子会社が多いグループ特性を勘案、親会社の持株会社機能とガバナンスを強化

①HR機能強化

グローバルベースのリテンション強化、人事制度改定等の基盤増強

②コーポレート・ブランディング

IR/PRの強化拡大による認知度向上継続
サステナビリティを始めとする非財務領域の充実による企業価値向上

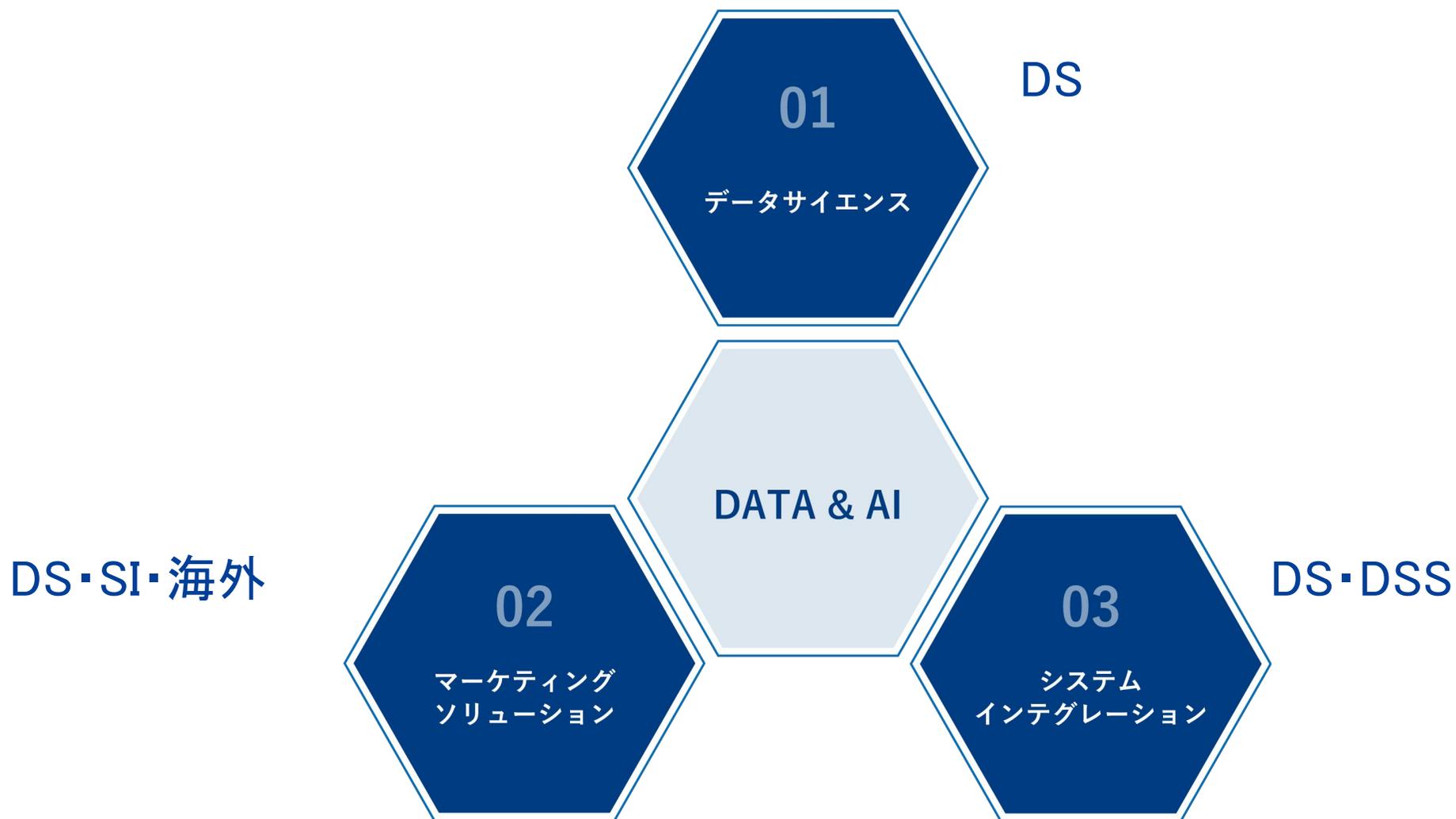
③ガバナンス

グローバル上場企業としての強固なガバナンス向上、PMIの先鋭化

④オペレーショナル・エクセレンス

効率化・事業採算向上に繋がるオペレーショナル・エクセレンスの進展

「データとAI」との強みに原点回帰し、3つの事業ドメインに再定義



※DS:データセクション株式会社、DSS:株式会社ディーエスエス、SI:ソリッドインテリジェンス株式会社

当社の強みであるAIやデータ領域の一層の発展を目指し、4月9日付で先端AIデータイノベーション研究所(通称:AIDI)を設立。
LLMや生成AIをはじめとする先端技術の研究から、当社グループへのスピーディーな還元を目的とする

◆詳細については、以下の当社HPからご確認いただけます。

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3905/tdnet/2419292/00.pdf>



<提携の理由>

- ・この度、両社の技術、製品、リソース及びネットワークを活用し、今後も需要拡大が見込まれる AI サーバー分野における R&D、AI データセンターの運営などにおける協業を目的として、本業務提携を前提とした基本合意書を締結いたしました。

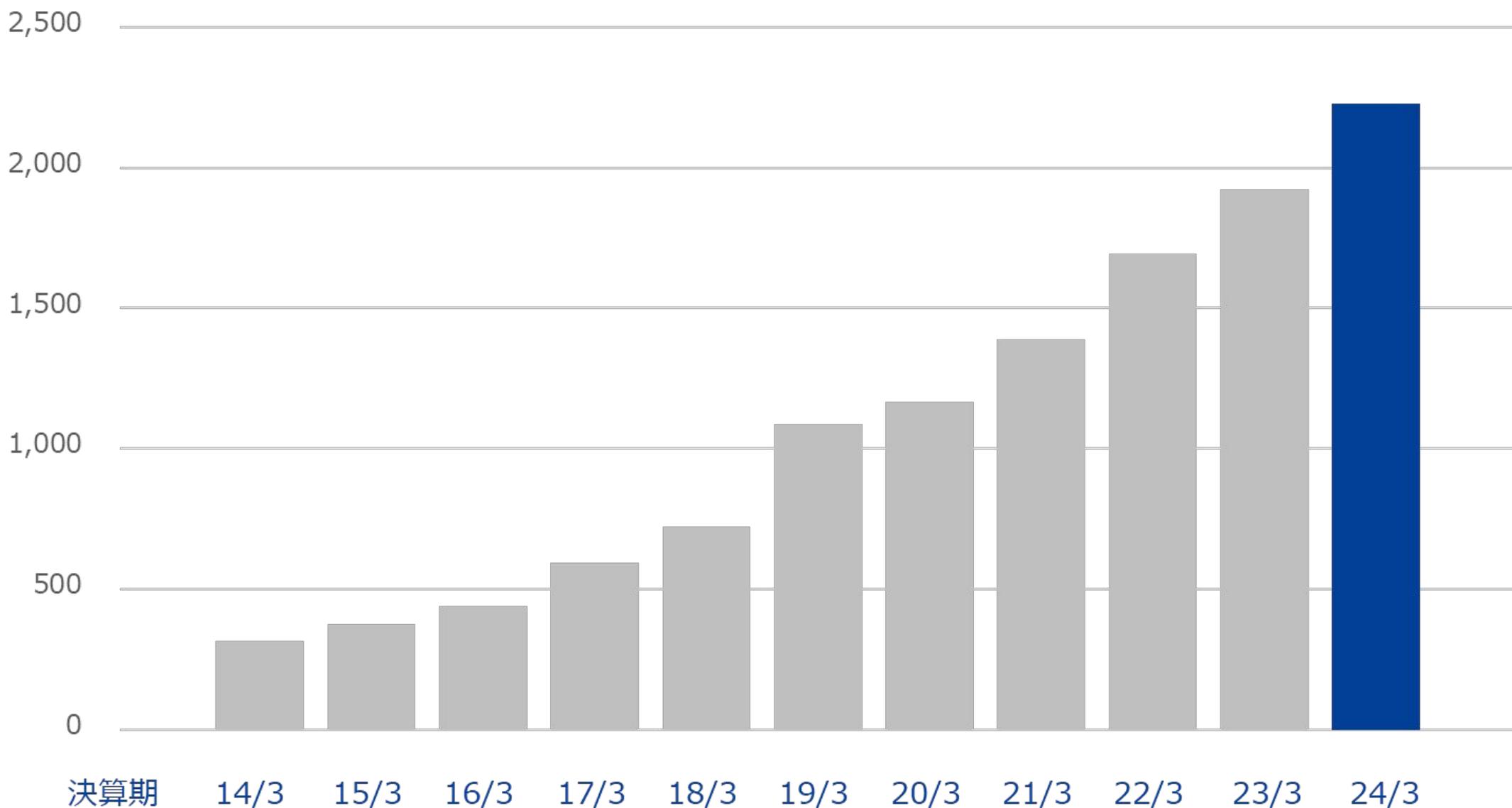
本提携の内容

本業務提携の開始に向け、AI サーバー分野における R&D、AI データセンターの運営などを中心に協議を進めており、本業務提携の具体的な方針及び内容等の詳細につきましては、今後の協議を踏まえ決定次第、適切に開示を行ってまいります。

今後の見通し

本件による、当社の2025年3月期連結業績への影響は軽微と考えておりますが、本業務提携の実現により、中長期的には当社の業績及び企業価値向上に資するものと考えております。今後、開示すべき事項が発生した場合は、速やかに開示いたします。

3. Appendix



売上高
(百万円)

317

376

439

593

721

1,088

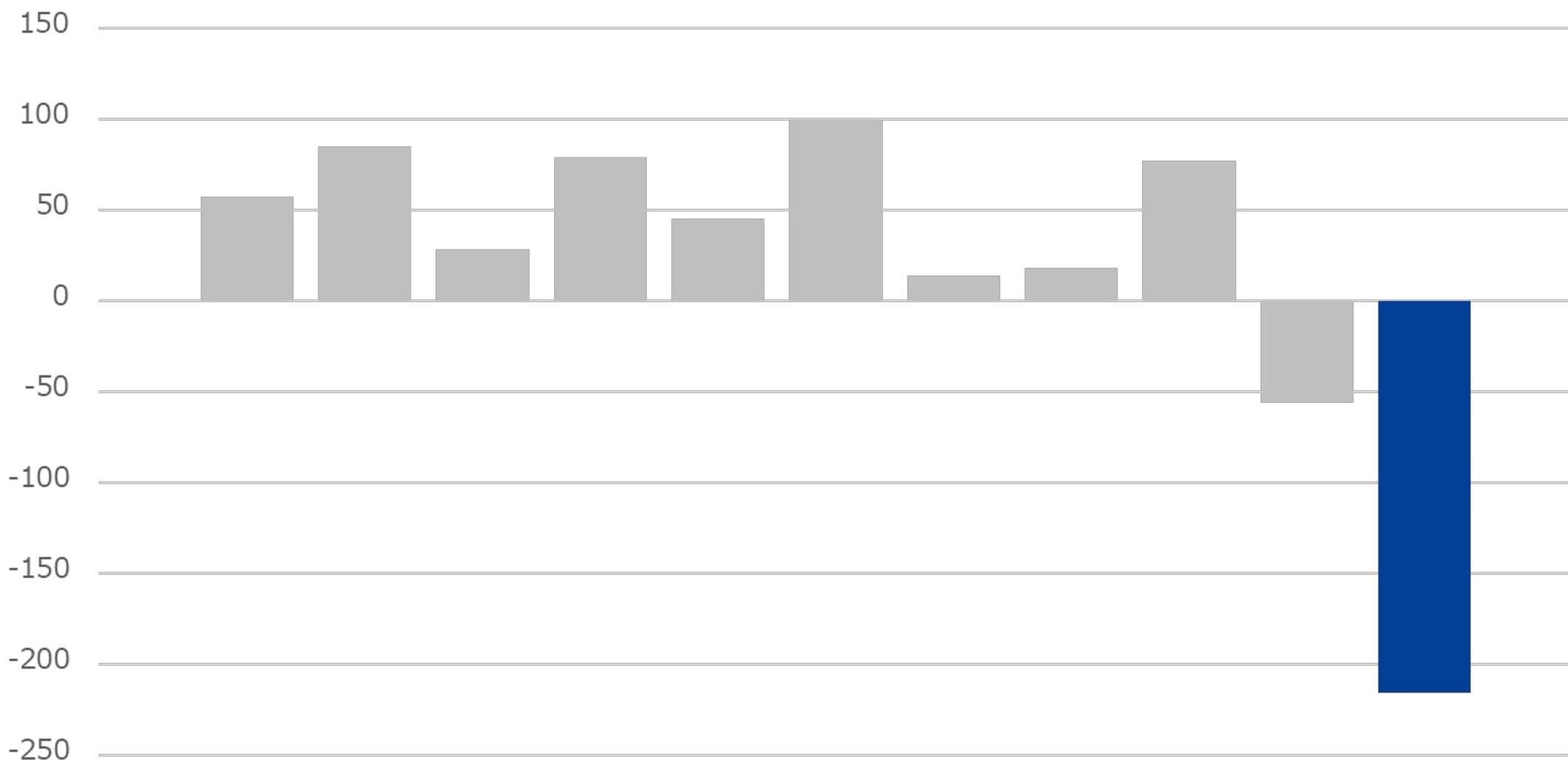
1,168

1,389

1,692

1,924

2,229



決算期

14/3

15/3

16/3

17/3

18/3

19/3

20/3

21/3

22/3

23/3

24/3

営業利益
(百万円)

57

85

28

79

45

100

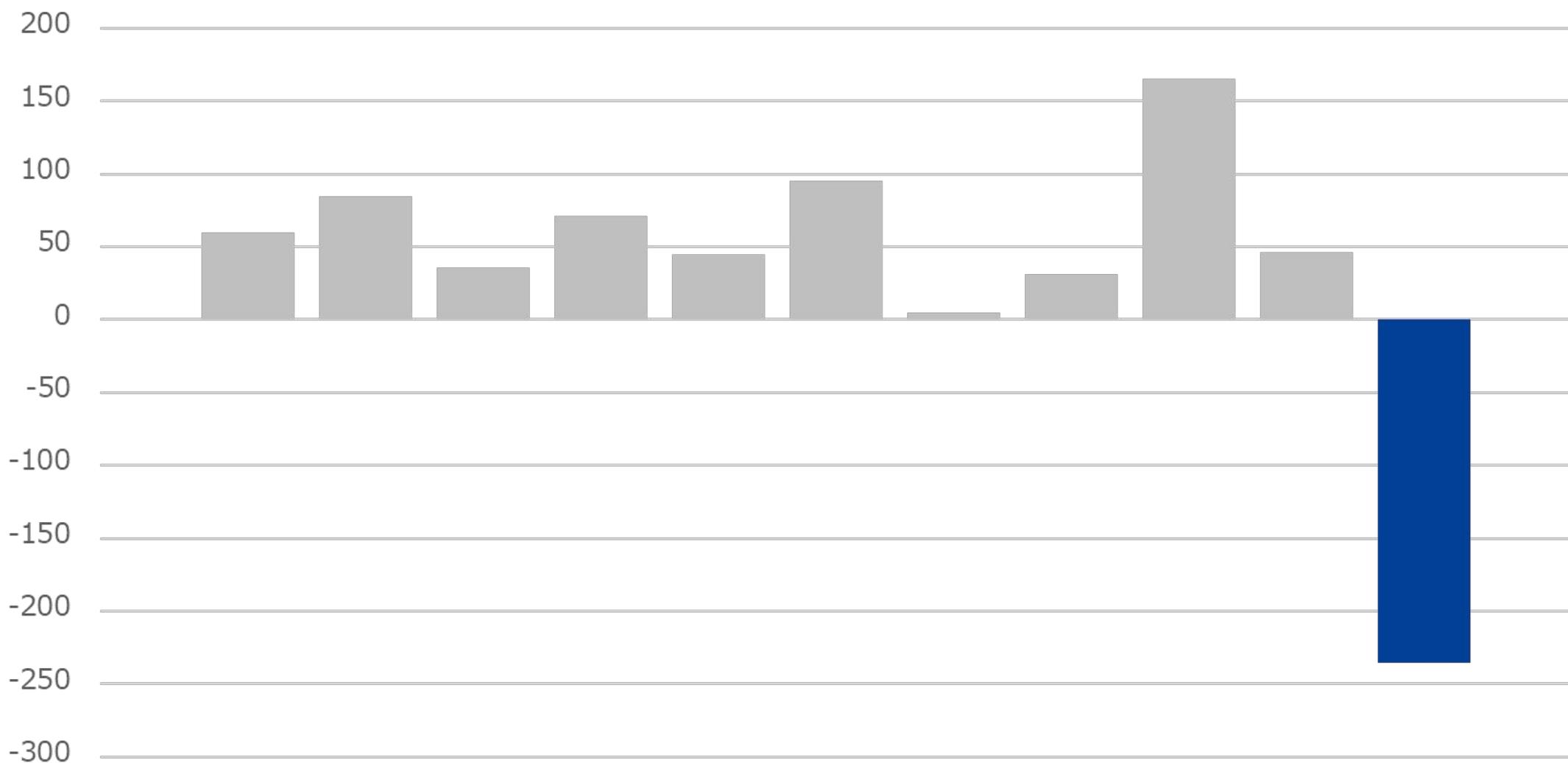
14

18

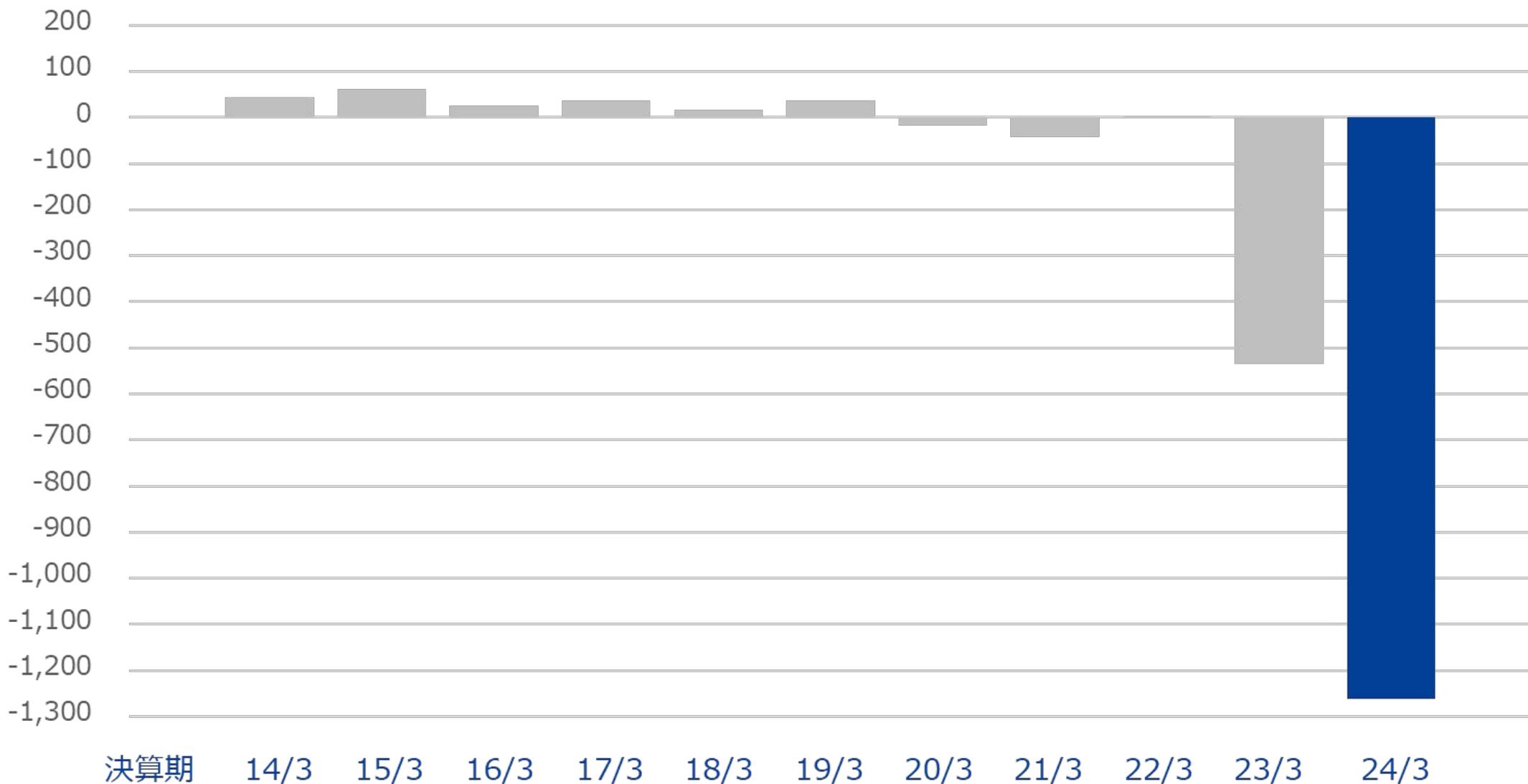
77

▲55

▲216



決算期	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3
經常利益 (百万円)	60	85	36	71	45	95	5	31	165	46	▲235



親会社株主に
帰属する当期
純利益
(百万円)

45

63

26

36

16

37

▲17

▲41

2

▲530

▲1,261

4. 參考資料

会社概要

We ARE ...

What we will be ...

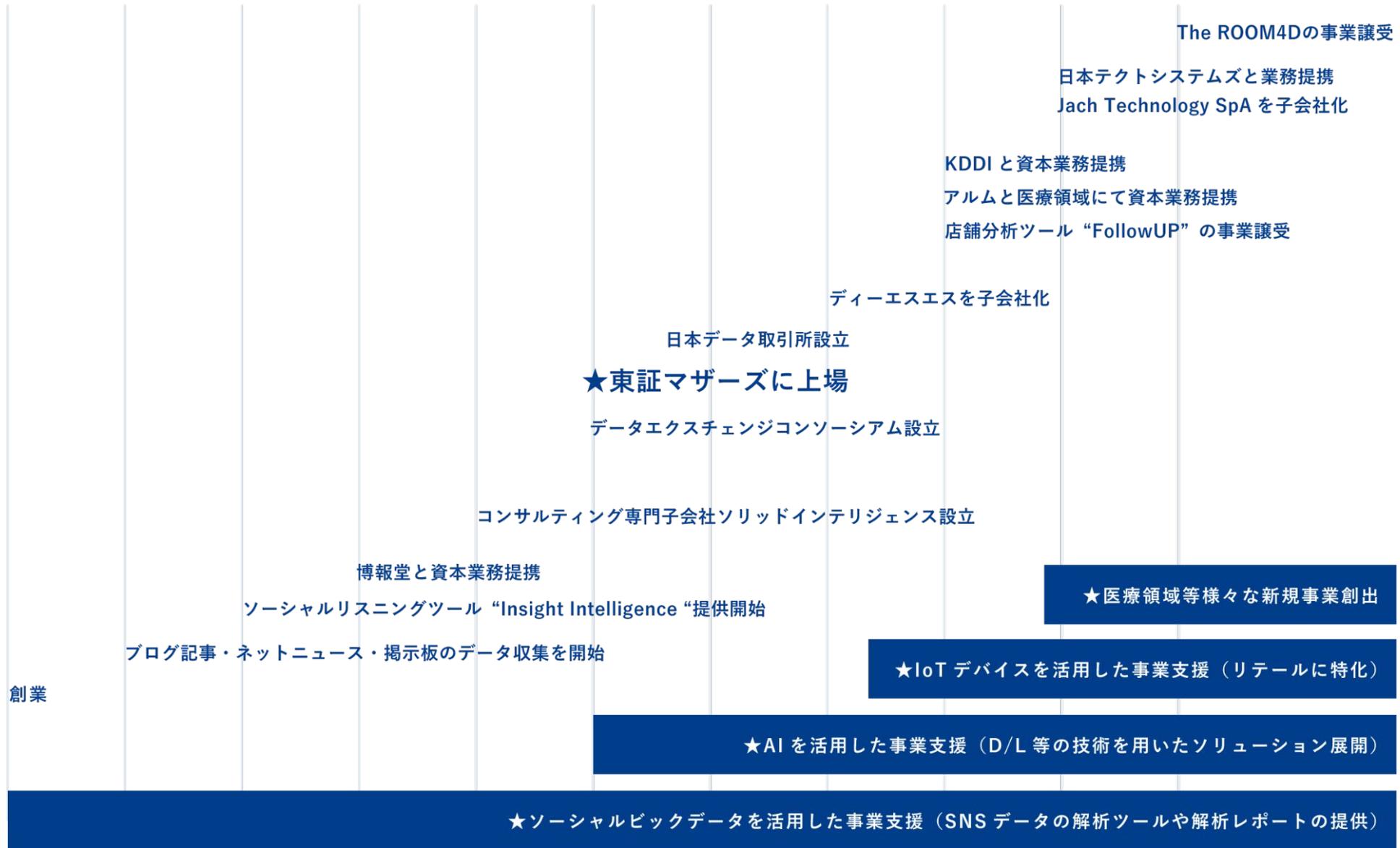
What we should do ...

Change the Frame

世界のデータ部「セクション」として
人々の暮らしを世界中でバージョンアップし続ける
テクノロジーで実社会に変革をもたらし、
新しい暮らしをつくりあげる

会社沿革

2000 2003 2009 2012 2013 2014 2016 2017 2018 2019 2023



経営陣紹介



岩田 真一

代表取締役社長
CEO 兼 CFO



**Christian
Cafatti**

取締役



石原 紀彦

取締役



片野 大輔

取締役

経営陣紹介



内山 雄輝

取締役 (社外)



中嶋 淳

取締役 (社外)



坂田 幸樹

取締役 (社外)

経営陣紹介



田代 彰

常勤監査役（社外）



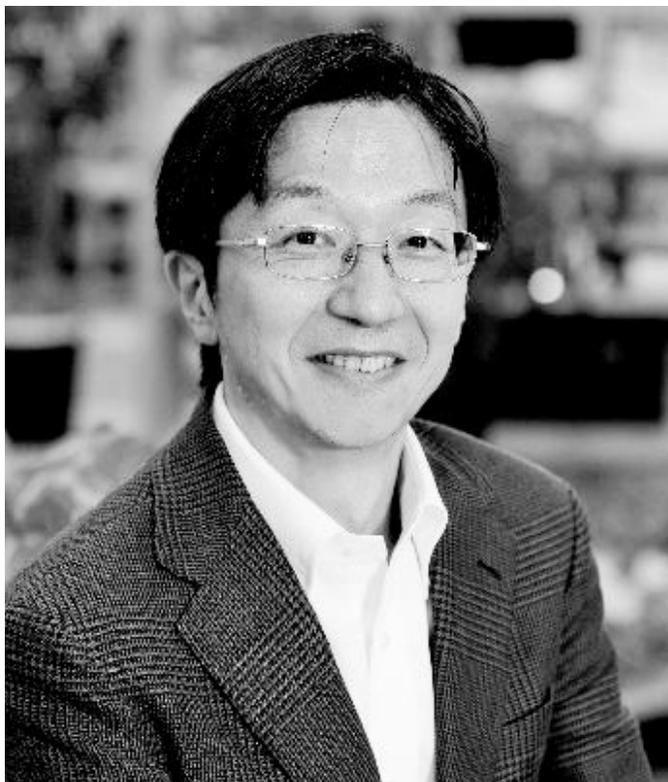
石崎 俊

監査役（社外）



横山 大輔

監査役（社外）



創業者

はしもと だいや

橋本 大也

データサイエンス 人材育成の第一人者

データセクション株式会社創業者（現在当社顧問） / デジタルハリウッド大学教授
メディア・ライブラリー館長 / 多摩大学大学院客員教授
早稲田情報技術研究所取締役 / 書評家・翻訳者

2000年代初頭からアルファブロガーとして日本有数のインフルエンサーとして長年に渡る人気ブログである「情報考学 Passion for the future」を執筆。書評ブログとして月間約30万UUの人気ブログとなった。現在では日英両方で書評ブログ執筆しており著書として「情報考学Web時代の羅針盤 213冊」（主婦と生活社）／翻訳書として「アナログAIの次に来るもの」がある。2000年前後のシリコンバレースタートアップ・ベンチャーを調査し大企業向けにコンサルティングサービスを展開しながら、2000年にビッグデータと人工知能企業のデータセクションを創業。2014年に東証マザーズ（現東証グロース）市場に上場し、現在は当社顧問に就任。以降、大学を始めとする教育の場にて教育者・事業家として活躍。デジタルハリウッド大学では教授として「テクノロジー特論(旧データサイエンス基礎)」担当。多摩大学大学院では客員教授として「先端ITマーケティングイノベーション」担当。現在は、ChatGPTを始めとする生成AIの技術領域にて研究を重ね、講演を行うと共に、著名な研究者と共にスタートアップの事業開発を準備中。

DATA SECTION GROUP

データセクション グループの紹介

データセクションは世界中の
仲間たちと共に成長します。
データとAIで未来を形作る冒険が
今、始まります。

データセクショングループは、大容量のデータ分析、AIによる高性能の
画像解析等に強みを持ち、グローバルベースで、小売業界など幅広い企業の
DX化・業務合理化をサポートしています。

そのほか、顧客ニーズに応じた受託開発事業、Fintech事業、ソーシャル
メディア分析事業など幅広く展開しています。

DATA SECTION

 <p>世界中のソーシャルビッグデータの調査・活用 およびコンサルティング</p>	 <p>金融システムを中心に、オンプレミス/クラウド基盤に おけるセキュアなシステム環境の構築 セキュリティ面を意識したアプリケーションを提供</p>
 <p>公正性・安全性・信頼性を備えた 最適なデータ取引市場の提供</p>	<p>Jach Technology SpA Alianza FollowUP S.A.S.</p> <p>小売店舗分析ツールの開発 およびグローバルでの提供</p>

データセクション株式会社

ir@datasection.co.jp
03-6427-2565

〒141-0031

東京都品川区西五反田1丁目3-8 五反田PLACE 8階

<https://www.datasection.co.jp>

注意事項

- 本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。